

スコルコヴォ ROBOTICS FORUM 2019

報告者募集のご案内

平成31年3月11日
総務省
経済産業省
IoT推進コンソーシアム

総務省、経済産業省及びIoT推進コンソーシアムでは、2019年4月16日(火)、モスクワ市のスコルコヴォ・イノベーション・センターで開催される「ROBOTICS FORUM 2019」において、ロボティクス・AI分野の先進的取り組みについてご紹介いただける日本企業の報告者を募集します(本フォーラム参加に関わる渡航日程は4月14日(日)～18日(木)を予定)。本件は、2018年9月に締結された、IoT推進コンソーシアムとスコルコヴォ財団の協力覚書に基づく事業です。

本フォーラムは、同分野を対象とした東部ヨーロッパ地域最大の国際フォーラムであり、2013年から毎年開催されております。スコルコヴォ・イノベーション・センターは、ロシア政府が資源依存型経済からの脱却を目的に立ち上げた技術革新拠点であり、いわゆる「ロシア版シリコンバレー」との位置づけで発展を続けています。同センターは、先端技術開発において外国企業を含む大企業と協力を進めると同時に、ビジネスイベントの開催や各種助成措置を活用し、スタートアップ育成を主導する立場にもあります。「ROBOTICS FORUM 2019」には、ロシアを中心に、世界各国から関連分野の有識者(産業界、大企業、スタートアップ、VC、研究者等)が参加し、多数のセッションや展示イベントが実施される予定です。

報告者は、希望者より選定します。報告者の渡航条件等については別紙1をご参照のうえ、ご関心の向きは別紙2「申込書」にて、**2019年3月27日(水)までにメールまたはFAXにてお申し込みいただきますよう、お願い申し上げます。**

□開催日:2019年4月16日(火)

* 渡航日程:4月14日(日)～18日(木)

□訪問先:スコルコヴォ・イノベーション・センター(モスクワ市、ロシア)

□募集人数:3名(注:1社1名を想定)

□報告者は、希望者の中から選定します。報告者の渡航・滞在費は平成31年度予算成立後、日露貿易投資促進機構(事務局:一般社団法人ロシアNIS貿易会)にて負担する予定です。

□お申し込み方法

参加申込用紙(別紙2)に必要事項をご記入の上、**2019年3月27日(水)までに**、下記申込先までe-mailまたはFAXでお送りください。先着順で受付させていただきます。

【お問い合わせ先】

経済産業省通商政策局ロシア・中央アジア・コーカサス室 (担当:檜垣、岡本)
TEL:03-3501-2838

【お申し込み先】

株式会社三菱総合研究所 IoT推進コンソーシアム事務局 (担当:谷田部、西角)
TEL:03-6705-6147 (受付時間:平日10:00～12:00、13:00～17:00)

FAX:03-5157-2195

Email:iotac-ml@mri.co.jp

報告者 渡航条件/参加要領

1. 基本事項

- (1) 報告者は、別紙2にて応募された方より、経済産業省及び総務省が選定します。
- (2) 「ROBOTICS FORUM 2019」への日本企業報告者派遣(以下、本事業)は、平成31年度予算の成立および執行開始以降は、日露貿易投資促進機構(<http://www.jp-ru.org/>)の対象事業となり、その事務局である(一社)ロシアNIS貿易会(ROTOBO)が主催します。以下は、平成31年度予算の成立と期日通りの執行開始を想定した内容となっており、「事務局」とはROTOBOを意味します。

2. 報告者の基本渡航要領 (報告については、「4. 報告について」をご参照ください)

- (1) 報告者の渡航・滞在費は本事業の事務局が負担致します。したがって、フライトとホテルは原則、事務局にて手配致します。
- (2) 移動時、また視察等の際は団体行動を原則とします。
- (3) 宿舎は市内中心から西よりのアジムットホテル・スモレンスカヤ・モスクワを手配予定です。
(<https://en.azimuthhotels.com/Russia/azimut-hotel-smolenskaya-moscow/>)
- (4) 報告者の「ROBOTICS FORUM 2019」への参加登録は、事務局が代行し、参加料も事務局が負担します(1名2,000ルーブル(約3,500円相当)。
(参考:参加登録用URL <https://skroboforum.sk.ru/en/price>)
- (5) 「ROBOTICS FORUM 2019」の各セッション聴講に関し、基本言語は英語とロシア語となります。ただし、報告については日本語で行うことが可能です(4参照のこと)。
- (6) 共通行動時の現地車両につきましては、事務局が用意します。
- (7) 滞在中の食事は各自でご準備・手配ください。
- (8) ロシアに渡航するにあたっては査証(ビザ)が必要です。事務局が旅行代理店を通じて報告者の査証取得を行います。査証取得の際には1週間ほどパスポートを旅行代理店に預ける必要がございますので、お早めのお申込みにご協力いただけますと幸いです。
- (9) 報告者は1社1名の想定です。報告者が所属する企業から同行を希望される場合は、別紙2の所定欄にその旨ご明記のうえ、お早めにお申し込みください。渡航・滞在費は自己負担となりますが、報告者用の現地車両に同乗する等、事務局のサービスを一部、ご利用いただける場合があります。

3. 渡航日程(予定)

現時点で予定されている渡航日程は以下です。

	日付	時間	日程	宿泊
1	4/14 (日)	12:15 16:05	成田発(SU261) モスクワ(シエレメチェヴォ)着	モスクワ
2	4/15 (月)	午前 午後	各種準備 スコルコヴォ・テクノパーク視察(予定)	モスクワ
3	4/16 (火)	午前 午後	フォーラムレジストレーション、プレナリー・ディスカッション聴講(予定) 日本企業セッションの実施(予定)、B2Bの実施(予定)	モスクワ

4	4/17 (水)	午前 19:00	資料整理 モスクワ(シエレメチェヴォ)発 (SU264)	モスクワ
5	4/18 (木)	10:30	成田着	機中泊

4. 報告について

(1) 日本の先進的なロボティクス・AI分野の取り組みについて、報告(プレゼン)を行うことが報告者としての必須条件となります(1名30分の想定)。自社のビジネス、技術、研究内容のPRなど、報告内容については各社のご判断でご提案ください。

【日本からの参加スピーカーに期待されるテーマ(例)】

※以下の内容に限らず、スピーカーの希望に応じて提案可能です。

- 医療
 - ロボットを利用した外科医療
 - リハビリテーションにおけるパワードスーツの適用等
- 生産のデジタル化と自動化
 - 日本企業におけるロボット技術開発の実例
 - 生産プロセスや倉庫の自動化
 - デジタルツイン
 - AI技術を利用した不具合予測等

(2) フォーラムにおける報告の基本言語は英語(英露同時通訳)です。このため、報告資料(映写用)は英語でご準備いただき、渡航の一週間前にはPPTファイルにて事務局へご提出ください。なお、現地にて紙で配布をご希望の場合は、表紙と裏表紙を含めてPPTスライド8枚以内の印刷用資料を映写資料とは別に用意いただき、提出いただけますようお願い致します。

注) 日本語での報告をご希望の場合は日口通訳での実施を調整させていただきます(通訳は事務局手配)。この場合、プレゼン資料の他に、通訳用資料として日本語の発言原稿を必ず事前にご提出ください。また、日本語でのご報告の場合も、報告資料(映写用)は上記の通り、英語にてご提出ください。

(3) 報告者については、役職は問いませんが、具体的な話ができる専門家を想定しています。また1社1名の想定で、モスクワでの現地参加も可能です。

(4) 報告者が所属される企業から同行を希望される方については、渡航・滞在費は自己負担となります。査証取得を含め、各自にて旅行代理店を通じてフライト、宿泊をご手配いただけますようお願い致します。以下、同行者向けの参加要領をご確認ください。

- ① 現地集合、現地解散を基本とします。また、滞在中の食事は各自でご準備・手配ください。
- ② フライトとホテルは、上記の情報を参考に、旅行代理店等を通じて各自でご手配ください。
- ③ 渡航・滞在費は参加者各自でのご負担となります。航空券(成田発着のアエロフロート直行便エコノミー)及び推奨ホテルでの宿泊料の合計額はおよそ20万円程度の見込みです。
- ④ 「ROBOTICS FORUM 2019」への参加登録は各自にてお願い致します。
- ⑤ ロシアに渡航するにあたっては査証(ビザ)が必要です。「招待状」の入手を含めて旅行代理店等を通じて各自でお手続きをお願いします。

注) 推奨旅行代理店については、ROTOBO HP「信頼と実績のロシア・NIS関連サービス業者」をご覧ください(<http://www.rotobo.or.jp/info/link/service.html>)。

5. スコルコヴォでの視察及びB2Bについて

(1) 4月15日の視察プログラムについて

●スコルコヴォ側が報告者を対象にイノベーション・センター及びテクノパーク内の視察ツアーを企画予定となっております。これは、本フォーラムの報告者全体を対象としたものであり、本事業の対象者にのみフォーカスしたものではありません。したがって、基本言語は英語となりますところ、ご承知おきいただけますようお願い致します。

●この視察プログラムは報告者を対象としたものであり、同行者は参加いただけない可能性がございますので、この点もご理解いただけましたら幸いです。

(2) B2Bについて

●こちらについては、ロシア側参加者の状況が明らかになった後、報告者のみなさまのご希望に応じて、後日調整とさせていただきます。

関連地図【モスクワ市内位置関係】



参考資料

1) スコルコヴォ・イノベーション・センター概要



- メドヴェージェフ政権期に、「ロシア版シリコンバレー」構築を目標にイノベーション推進特区として設けられた(運営母体はスコルコヴォ基金)。情報技術、省エネ、バイオ・医薬、宇宙、原子力、農業の6分野を重点領域として、企業との研究開発協力、スタートアップの育成に力を注いでいる。情報技術分野では、ロボティクス、AI、ビッグデータ、VR、サイバーセキュリティ等に注目。
- 日本企業との間では、R&Dにて、パナソニックやファナック等と協力関係にある。
- 4月にはROBOTICS Forum、5月末にはStartup Village、10月後半にはOpen Innovationと近年ロシアで注目される大規模なテック系フォーラムを多数開催している。
- ROTOBOとの間では、2018年2月、日本とロシアのスタートアップ交流を目的に、現地に日本からミッションを派遣し、同センターにてMeetupイベントを開催した。

2) スコルコヴォ「ROBOTICS FORUM 2019」概要



- 1)開催日:2019年4月16日(火)
- 2)場所:スコルコヴォ・イノベーション・センター(モスクワ市)
- 3)参加者数:約5200人、メディア120人(2018年実績)
- 4)セッション:約80セッション/スピーカー90名(2018年実績)
 - ※キーノートスピーカー <https://skroboforum.sk.ru/en/speakers>
 - ※セッションプログラム <https://skroboforum.sk.ru/en/program>
- 5)2019年メインテーマ:Robotics, AI
 - Key Topics - (※ウェブサイトより)
 - ・Robotics used in manufacturing
 - ・Assistive robotics, incl. in medicine
 - ・Logistics systems

- ・Unmanned vehicles (in various environments)
- ・Artificial intelligence in manufacturing processes
- ・Robotics components

【リンク】

- ◆スコルコヴォ ROBOTICS FORUM 公式サイト <https://skroboforum.sk.ru/en/>
- ◆スコルコヴォ財団ウェブサイト <http://sk.ru/news/>

【予定プログラム(2月末時点)】

1) メイン会場(カザン・ホール)

- 10:00～11:00 ロボット技術及び人工知能の傾向とマーケット(プレナリー・ディスカッション)
- 11:00～11:30 オープニング(司会: A. チェルノフ スコルコヴォ基金第1副総裁)
- 12:00～13:00 パネルディスカッション(予定テーマ「人工知能の学習」。報告者は、スコルコヴォ基金、Yandex、University of Modena and Reggio Emiliaから登壇予定)
- 13:30～14:30 セッション(予定テーマ「生産現場における産業用パワードスーツ」)
- 17:00～18:00 パネルディスカッション「コーポレート・アクセラレーター。スタートアップの発注者としての大企業」

2) MF3-1会場

- 12:00～12:30 セッション(インターフェイス:ブレイン・コンピューター、デューク大学)
- 12:30～13:00 セッション(非侵襲的脳機能イメージング[non-invasive brain imaging]の諸課題への信号処理及び統計処理の適用、高等経済学院)
- 13:00～13:30 セッション(ニューロエンジニアリング、ミュンヘン工科大学)
- 13:30～14:00 セッション(ロボットオリエンテーションの管理手法、森本 淳、ATR脳情報研究所ブレインロボットインタフェース研究室室長)
- 14:00～14:30 セッション(マイクロ・ナノロボット、チョナム国立大学、国際ロボット技術連盟)
- 14:30～15:00 セッション(オペレーション・プランニングの自動化のためのMedical imaging、スコルコヴォ工科大学)
- 15:00～16:00 パネルディスカッション(Interaction of Neuroscience with Robotics、上記の森本氏の他、デューク大学、高等経済学院、ミュンヘン工科大学、EkzoAtletから登壇)

3) MF3-2会場

- 12:00～12:30 セッション(生産における不具合の異常検出及び予測)
- 13:00～14:00 パネルディスカッション(倉庫業におけるロボット技術、司会はYandex)
- 14:00～14:30 セッション(デジタルプロダクションe-factory、三菱電機ロシア)

4) ライトウイング会場

- 12:00～12:30 セッション(Cognitive Technologies)
- 12:30～13:00 セッション(Moving shadow detection: アルゴリズムと評価、University of Modena and Reggio Emilia)

- 13:00～13:30 セッション(ニューラルネットワークを利用したアウトプット・フィードバックの適用管理、イリノイ州立大学)
- 13:30～14:00 セッション(マニピュレーションのための諸課題の結果の予測、ジョージア工科大学)
- 14:30～15:00 セッション(自動運転技術)
- 15:00～15:30 セッション(宇宙ロボット技術、PTScientists)
- 15:30～16:30 パネルディスカッション(宇宙におけるロボット技術、司会はスコルコヴォ基金)
- 16:30～17:00 セッション(ロボット用のSLAM [simultaneous localization and mapping]、スコルコヴォ工科大学)
- 17:00～17:30 セッション(Yandexタクシーの自動運転、Yandex)

5)カプセル1会場

- 12:00～12:30 セッション(コンピュータ・ビジョン、Yandex)
- 12:30～13:00 セッション(敵対的生成ネットワーク[GAN]、ThisPersonDoesNotExist.com)
- 13:00～13:30 セッション(新材料開発におけるロボット技術と人工知能、ハーバード大学)
- 13:30～14:00 セッション(法律文書分析、Ostinstitut Wismar)
- 14:00～15:00 パネルディスカッション(機械可読の権利、スコルコヴォ基金、MTS社、Ostinstitut Wismarから登壇)
- 15:00～15:30 セッション(Products with Hierarchical structureの需要予測、スコルコヴォ工科大学)
- 15:30～16:30 パネルディスカッション(タックスコンポーネントのデジタル化、司会はラジオ・ロシア、Yandex、FNS社等より登壇)

(了)

株式会社三菱総合研究所 IoT推進コンソーシアム事務局 (担当: 谷田部、西角)

FAX: 03-5157-2195 Email: iotac-ml@mri.co.jp

スכולコヴォ ROBOTICS FORUM 2019 報告者募集 申込用紙

2019年3月27日(水)締切

(1) 申込者氏名		英文表記	
(2) 勤務先名称			
英文表記			
(3) 所属部署			
英文表記			
(4) 役職		英文表記	
(5) 勤務先住所			
(6) 勤務先TEL		(7) 勤務先FAX	
(8) E-mail			
(9) 連絡担当者		(10) 担当者TEL	
(11) 担当者Email			
(12) 報告タイトル			
(13) 報告内容概略			
(14) 同行希望者の有無			
(15) その他、本事業についてのご希望、不明点等 ※お電話での照会をご遠慮ください。			

※個人情報の取扱には十分注意し、当案件以外の目的では使用いたしません